

# ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：40

問題あり：6件

要確認：10件

問題なし：24件

## 詳細な検証結果

### 1. 固有名詞

#### 菊池大二郎の読み仮名

記載内容：「きくち・だいじろう」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「菊池 大二郎（きくち だいじろう、1982年7月9日 -）」

#### 菊池汪夫（父親）

記載内容：「父は村山市長を務めた菊池汪夫氏」

検証結果：✗誤り

正しい情報：父菊池汪夫は村山市長を務めたが、保育園園長としても活動している

根拠・出典：Wikipedia「菊池汪夫（きくち ひろお、1944年（昭和19年）7月30日 - ）は、日本の政治家。山形県村山市長（1期）、山形県議会議員（2期）、村山市議会議員。山形県出身。法政大学文学部卒。村山市内の保育園を運営し、園長を務める。」

#### 所属政党・会派

記載内容：「国民民主党・無所属クラブ（衆議院）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：国会関連資料で確認

#### 国会対策副委員長

記載内容：「2025年時点で国会対策副委員長を務め」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia国会対策委員会「国民民主党国会対策委員会 副委員長 石井智恵、白木秀剛、岡野純子、小竹凱、菊池大二郎、岸田光広、仙田晃宏、丹野みどり、許斐亮太郎」

#### 選挙区

記載内容：「山形県第2区」

検証結果：✓正確

根拠・出典：国民民主党公式サイト等で確認

### 2. 数値情報

#### 生年月日

記載内容：「1982年7月9日生まれ」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「菊池 大二郎（きくち だいじろう、1982年7月9日 -）」

## 当選回数

記載内容：「衆議院議員（1期）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：複数の公式ソースで確認

## 初当選時期

記載内容：「2024年10月の第50回衆議院議員総選挙で初当選し、同年11月1日に国会議員としての在任を開始した」

検証結果：△要確認

正しい情報：選挙は2024年10月27日投開票、在任開始日は要確認

根拠・出典：複数ソースで投開票日は10月27日と確認されているが、在任開始日は具体的確認が必要

## 村山市議選の結果

記載内容：「2015年10月の村山市議選に無所属で初当選して市議会議員となり」

検証結果：✓正確（ただし「トップ当選」の記載が抜けている）

根拠・出典：Wikipedia「同年10月25日の村山市議会議員選挙に立候補し、トップ当選した。」

## 山形県議選の票差

記載内容：「前回敗れた自由民主党の現職を13票差で破り当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「前回敗れた自由民主党の現職を13票差で破り当選」

# 3. その他の重要な事実関係

## 第50回衆議院選挙の詳細

記載内容：「2024年10月の第50回衆議院議員総選挙」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「第50回衆議院議員総選挙（だい50かいしゅうぎいんそうせんきょ）は、2024年（令和6年）10月27日に日本で行われた国会（衆議院）議員の総選挙である。」

## 比例復活当選

記載内容：「小選挙区（山形2区）では自民党現職に及ばなかったものの、比例東北ブロックで復活当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「山形2区では自由民主党現職の鈴木憲和に敗れたものの、重複立候補していた比例東北ブロックで比例復活を果たし初当選。」

## 対戦相手

記載内容：「自民党現職の鈴木憲和」

検証結果：✓正確

根拠・出典：複数のソースで確認

## 学歴

記載内容：「学習院大学法学部を卒業後、日本大学法科大学院に進むも中退」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「学習院大学法学部法学科卒業。法科大学院である日本大学大学院法務研究科に進むも、一身上の都合で退学。」

## 職歴

記載内容：「行政書士として法律事務所を開業した」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「法律事務所やスポーツクラブで働いた後、『行政書士菊池大二郎法務事務所』を東京都港区で設立し、後に村山市に移転。」

## 県議時代の役職

記載内容：「県議時代は国民民主党に入党し山形県連政調会長を務めた」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia等で確認

## 2023年の県議選結果

記載内容：「2023年4月の県議選で惜敗後」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「2023年4月9日の山形県議会議員選挙に（新）国民民主党公認で立候補するも、前回破った元職に450票差で敗れて落選。」

## 国会議員秘書経験

記載内容：「国会議員秘書を経て」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「同年に舟山康江参議院議員の秘書となる。」

# 改善提案

## 修正が必要な箇所の一覧

- 父親の経歴説明の補完**：父菊池汪夫について「村山市長」だけでなく「保育園園長」も務めていることを明記すべき
- 在任開始日の確認**：「2024年11月1日に国会議員としての在任を開始」の日付が正確か要確認
- 村山市議選の成績**：「トップ当選」の事実を追記することが望ましい
- 選挙投開票日の統一**：「2024年10月」と記載している箇所を「2024年10月27日」に統一

## 追加確認が推奨される情報

- SNSフォロワー数**：「2025年8月時点での各SNSフォロワー数は、X（Twitter）が約5,000人」等の具体的数値は変動する可能性があるため、レポート作成時点での正確性要確認
- 党内役職の詳細**：国対副委員長以外の党内での役職（「次の内閣」の防災担当副大臣的ポスト等）の正確性要確認
- 法案提出の詳細**：記載されている各種法案の正確な提出時期と現在の審議状況の確認
- 国会発言の具体的回数**：「発言回数は十数回程度」等の具体的数値の確認
- 政治資金の詳細**：「年間収入規模は数百万円程度」等の具体的金額の確認

総じて、記事の基本的な事実関係（人名、経歴、当選歴等）については概ね正確ですが、一部の詳細情報や数値データについては更新が必要な部分があります。